



JREU TOKYO

業務部速報



2024.5.02 No.044

発行：JR東労組東京地本 業務部

・首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について

・「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」の一部修正について

首都圏本部より2件の提案を受ける！！その⑤

「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」 の一部修正について

- 提案時の主なやりとりその④の続き

組合：必ず現場の社員からは、この修正について疑問が出る。その時に現場の管理者はなんと説明するのか。「**総合的に判断して**」で説明させるのか。

会社：**総合的に判断**という理由だけでは社員は納得しないと思う。

組合：首都圏本部が考える、東京運輸区(仮称) **設立を中止するメリット**と、東京運輸区(仮称)を **設立した後に期間をずらして統括センターに組み込むデメリット**はなんだと考えているのか。

会社：メリットとしては、東京統括センター設立に向けて **各職場の一体感**が作れると考える。デメリットは、東京統括センターとしての一体感が作れないことだと考える。

組合：**全く理解できないし納得できない。前段の議論と矛盾している。**理屈として通っていない。管理者が社員からの質問に困らないためにも、**理屈の通った説明を要請する。**また、「廃案」「修正」と捉え方について認識の違いはあったが、**一度提案した施策の内容を変更するということについて、労使間の関係上も現場の社員に対しても非常に重い事象であるということ**は伝えておく。

会社：「廃案」か「修正」かについてはこちらとしてもしっかり検討したうえでの判断である。組合側の主張については受けとめる。冒頭にも伝えた通り、**一度提案した施策の中身が変わってしまうことについてはイレギュラーであり、その部分の認識は一致している。**

統括センター化のメリット・デメリットについてしっかり議論し尽くされているのでしょうか？提案時の質疑では疑問が残りました。

JR 東労組東京地本は、変革2027を国鉄改革以上の大変革だと認識しています。だからこそ、安易な反対も賛成もできるものではありません。

本当にこのままでいいのでしょうか？

JR 東労組に集結し

働く者の立場から施策を作り上げよう！！